

ひかり

一般社団法人

光陽福祉会

発行日 平成 28年3月 第68号

今、思うこと

統括 中島 由貴

平成28年2月21日(日) 無事に第3光陽 祝賀会を執り行うことができました。皆様方のおかげです。心よりお礼申し上げます。ありがとうございました！この祝賀会に向けて、そして第3光陽に向けて、年明けより準備をしてきました。しかし時間の流れは本当に早すぎる！！祝賀会前は一日が40時間ぐらい欲しい…と日々思っていました(笑)

こういった光陽の節目に思うこと。
それは“光陽でよかった”ということ。

私自身の話になりますが、“療育”を大学で行った実習先で知り、惹かれました。私たちの時代は福祉系の大学にいて、就職は企業に進むという人が多い時でした。私は企業希望組ではなかったため、就職活動のスタートは遅め。療育ができる場所で働こうと決めていたけれど、そう簡単に見つけるはずもなく…たまたまその時中日新聞で中村局長と古田所長が映っている民家の写真「つぼみ開所 岐阜市で療育スタート」の文字。なぜか？！ここしかない！と思いました(笑)私の知っていた療育とは、全く違うつぼみの現場と、可愛くはちゃめちゃ？(笑)な子どもたちに心を掴まれてしまいました(笑)面接初日に、緊張していたら局長から「なにしとるの？公園行って！」と言われ、その後の面接では「うちのトップは見た目怖いんやて。」と言われた一言だけは忘れもしません。(笑)

そこからは怒涛の日々。とりあえず知ろう！経験しよう！といろいろなことを経験させて頂き、光陽も日に日に大きく変わっていきました。これは保護者の皆さまもご存知ですよ。

光陽に出会えてよかった…そう子どもたち、利用者の方に思ってもらえるかどうかはこれからです。節目を一緒に迎えてくださり、ありがとうございます。

信じた先に、光を見付けることだけを考えてきました。きっと10周年なんてあっという間なのでしょうね。どの部所の職員も変わらないことが1つ。「子どもたち、利用者が大好き。」その思いを貫けることだけは自信があります。(笑)

いよいよ第3光陽、そして光陽福祉会の新体制がスタートです。

就労支援センター 光陽



第3光陽竣工祝賀会に 向けての道のり… 竜川 千賀子

2/21(日)に第3光陽竣工祝賀会では、多くの関係機関・保護者の皆様にご出席頂きありがとうございました。今回無事に成功することが出来、彼らや職員一同とても嬉しく思います。今回は祝賀会に向けての彼らの頑張りを紹介させていただきます。実は、ブログで何度も載せたいなあと思っていましたが、本番を迎えるまでは内密にしていこう！ということで、やっと解禁となりました。

第三光陽が設立されると決まり、祝賀会での演舞を決定。昨年には第二光陽の設立があり、その際にはデイの子ども達がソーラン節を披露してくれました。果たして昨年のようにできるのか…不安を抱えながら曲を決定。色々考えた結果『一世風靡-セピア-』となりました。ダンスも決定し、彼らと共に練習を開始したのが9月からでした。

練習といっても、就労は日中が仕事で稼働している為、皆が仕事から戻ってきて帰る準備が出来てからになります。その為、皆揃っての練習は20分出来るか…という中でした。その為、一つ一つの動きを覚えるだけでも大変。実は、歌が入る前の前奏部分だけで1ヶ月半ほど時間を費やしました。なかなか歌の部分に入るまでいけず、本当に出来るのだろうか、焦りと不安が…一言でダンスと言っても、音楽を聴いて・リズムを合わせて・踊るというのはとても難しい。しかし、彼らは一生懸命覚えようとどんな時も向き合ってくれました。

彼らの動きが見えてきたところで、ダンス以外でも見せていきたい！就労全員が披露に参加出来るように！と、太鼓組・獅子舞組が誕生。それぞれに分かれて練習開始。



仕事終わってからも「今日はダンス練習の日だね！」「今日はカッコよく踊れるかな？」等、練習に前向きな彼ら。厳しいことを伝えた時もありました…そんな時も「やります！やりたいです！」と力強い言葉で、そして実際の動きで示してくれました。デイの子とも合同練習が始まり、先輩魂に火が付き更に演舞に磨きが掛かり、光陽演舞隊として稼働。

職員願い…『誰一人欠けずに出演すること』光陽福祉会恒例の菊池会長のテストでは、緊張でいっぱいでしたが、全員合格。皆とても嬉しそうで顔で「本番に出れるー！」と大喜び。

そして、本番に向けての練習の追い込みです。法被も着て、本番用の旗を持って、獅子舞を被って練習。練習の毎日。

本番当日。皆、本番の時間が近づくとつれカチカチに…(笑)髪の毛もカッコよくセットをしていざ光陽演舞隊出陣！！色々なプチハプニングがありました。全員参加！！そして、最後までやり遂げることができました♪大きな拍手を頂き、達成感でいっぱい！！

職員が号泣してしまいすみません(笑)彼らの、今までを一番側で見てきた為、止められませんでした！！本当に、よく頑張りました！！一人ひとりに感謝です。そして、温かく見守って下さった皆様、本当にありがとうございました。



きっずサポートはぐくみ

みんなで豆まき！！



後藤 成実

おにはそと～♪ふくはうち～♪と毎朝元気に朝の会で豆まきの歌を唄っていたはぐくみちゃん！「今日は節分です！」と朝の会でお話をする、ホワイトボードに描いた鬼の顔を消しに行く子がいました。うんうん！鬼は怖いよね。その気持ちは分かるよ。

そうこうしていると、はぐくみの部屋のドアがドンドンドン！嫌な予感がします。な、なんだろう？！すると！！赤鬼と青鬼がうお～！！と声を上げながら部屋に入ってきました！！

「わわ！何事だ？！」とみんな一瞬呆然。鬼が来たんだ！そう分かったと血相を変えて逃げる子、豆の代わりに準備しておいたボールを投げる子、泣いて何も出来ない子。

でも、最後は皆で協力して「おには～そと！」とボールを投げて鬼は見事に退散。怖かったけど、皆がんばったね。



きっと福の神がやってきてくれるよ^^



サポートセンターつぼみ

思い出がいっぱい 出口 妙子

早くも3月！ひかりの文章を考えていると自然と一年間であった沢山の出来事が思い出されて、あれこれ振り返っているうちに実は文章がなかなか浮かんでできませんでした。それだけ沢山の思い出があったのです。日々子ども達から刺激を受け、かわいい泣きがあったり、衝撃的な場面に出会うことも...良いことばかりではありませんが、その中でも癒しを見出すことができる自分は、結局子ども達の魅力にやられたんだなと思います。(笑)一人ひとりがちょっとしたアイドルです。職員それぞれ「推しメン」がいて、時には推し変をすることもありますしね！

私自身最近気に入っているやり取りがあります。松原先生がAちゃんに「ニコッとするととってもかわいいよ。笑顔は大事だよ。できるだけそうしなさい。」と言う所です。いずれは大きくなり、かわいい時期は去っていきますが、笑顔で人に接することのできる相手を嫌う人はまずそうそういません。Aちゃんがより愛される子になれるように。日々何気なく交わされる言葉ですが大切なことだなと思います。色々な経験を積み重ねていく中で、自信がなくてうつむきぎみな子も「あれ？ぼくもなかなかやるじゃん」「ぼくってすげーじゃん」と思える方向へ。関わる大人が積極的に「あなたのそういう所すごいね」「よく気が付いたね」「すごく丁寧なんだね」と事あるごとに「良い所」を伝えていけるようにその子のオリジナルな良い所を見付けたいですね！

3月から光陽ではいち早く進級することになりますが、新しい環境に慣れていけるようにお手伝いをしていきたいと思います。新年度もよろしくお願いいたします。